

## 貸借対照表

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

資産の部	
I 固定資産	260,264
1 有形固定資産	256,310
土地※1)	128,140
建物	73,452
構築物	2,421
工具器具備品	19,491
図書	22,374
美術品・収藏品	313
その他※2)	10,117
2 無形固定資産	708
ソフトウェア	341
その他	366
3 投資その他の資産	3,245
投資有価証券※3)	3,049
その他	195
II 流動資産	32,142
現金及び預金	6,223
未収学生納付金収入	159
未収附属病院収入	4,932
未収入金	1,389
有価証券※4)	18,902
たな卸資産	42
医薬品及び診療材料	397
その他	95
<b>資産合計</b>	<b>292,406</b>

負債の部	
I 固定負債	67,586
資産見返負債※5)	51,859
長期寄附金債務	105
債務負担金※6)	9,686
長期借入金	28
引当金	237
長期未払金	5,055
資産除去債務※7)	614
II 流動負債	32,126
運営費交付金債務	5,182
寄附金債務※8)	7,148
前受受託研究費等	797
1年以内返済債務負担金※6)	2,065
1年以内返済長期借入金	28
未払金	14,246
その他	2,658
<b>負債合計</b>	<b>99,712</b>

純資産の部	
I 資本金※9)	154,583
II 資本剰余金※10)	10,125
III 利益剰余金	27,984
前中期目標期間繰越積立金	20,106
目的積立金	1,688
積立金	4,443
当期末処分利益	1,745
<b>純資産合計</b>	<b>192,694</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>292,406</b>

**【流動資産】**  
資産のうち、1年以内に現金化されるもの

**【固定資産】**  
資産のうち、1年を超える長期間にわたって使用または利用されるもの

**【純資産】**  
業務実施のため与えられた財産的基礎、及び業務に関連して発生した剰余金

**【流動負債】**  
負債のうち、1年以内に返済または支払うもの

**【固定負債】**  
負債のうち、1年を超える長期にわたって返済または支払うもの

- ※1) 土地～札幌キャンパス、函館キャンパス、その他地方施設、研究林等。総保有面積は6億6千万㎡【参考：東京23区は約6億2千万㎡】。
- ※2) その他の有形固定資産～機械装置、船舶、車両運搬具、建設仮勘定（建物等の竣工までの仮勘定）。
- ※3) 投資有価証券～満期保有を目的として所有する国債・地方債・財投機関債等のうち、1年を超えて満期を迎えるものです。
- ※4) 有価証券～譲渡性預金、1年以内に満期償還となる国債・財投機関債を計上しています。
- ※5) 資産見返負債～運営費交付金、授業料、寄付金等を財源として資産を取得した場合、取得時に資産同額の負債を計上します。当該資産の減価償却相当額を資産見返負債戻入として収益化し、収支均衡を行うための独特の勘定科目です。
- ※6) 債務負担金～国立大学財務・経営センター債務負担金のことで、法人化以前の長期借入金を承継したものです。
- ※7) 資産除去債務～土地や建物など有形固定資産の除却に関して法律や契約により要求される義務に係る費用を事前に債務として計上するものです。
- ※8) 寄附金債務～翌期以降に使用される予定で繰越される寄附金の残高です。
- ※9) 資本金～政府出資金（法人移行時に国から現物出資を受けた土地、建物等）の総額となります。
- ※10) 資本剰余金～目的積立金や施設費で固定資産を取得した時、または非償却資産の取得時に、相当額を計上します。該当資産で生じる減価償却相当額は費用化せずに資本剰余金から直接控除（損益外減価償却）します。

# 損益計算書

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

費用	<b>経常費用</b>	<b>86,034</b>	
	業務費	82,371	<b>【業務費】</b> ・目的別に「教育」「研究」「診療」「人件費」等に分類 ・「教育経費」「研究経費」等の業務費には、建物設備にかかる減価償却費及び保守経費を含む ・「受託研究費」「受託事業費」には受託研究等に係る人件費を含む
	教育経費	4,616	
	研究経費	11,451	
	診療経費	14,549	
	教育研究支援経費	1,304	
	受託研究費	5,214	
	受託事業費	563	
	人件費	44,672	
	一般管理費	3,014	<b>【教育研究支援経費】</b> ・附属図書館・情報基盤センター等、大学全体の教育研究を支援する施設の運営経費
財務費用	648		
収益	<b>経常収益</b>	<b>87,860</b>	
	運営費交付金収益	33,561	<b>【一般管理費】</b> ・大学全体の管理運営を行うために要する費用（総務、人事、財務、経理、学生募集に要する費用等）
	授業料等収益	9,695	
	附属病院収益	25,834	<b>【財務費用】</b> ・大部分が大学病院に係る借入金利息
	受託研究等収益	5,194	
	受託事業等収益	565	
	寄附金収益	1,958	<b>【資産見返負債戻入】</b> ・運営費交付金・授業料・寄附金等の財源で取得した固定資産の減価償却に伴って収益計上し、期中の損益を均衡させる処理 ・国立大学法人特有の会計処理
	施設費収益	128	
	補助金収益	3,774	
	資産見返負債戻入	4,153	<b>【雑益】</b> ・研究関連収入・財産貸付料収入・家畜治療収入等を計上
	財務収益	62	
雑益	2,932		
<b>経常利益</b>	<b>1,826</b>		
<b>臨時損失</b>	<b>244</b>		
固定資産除却損	143		
その他臨時損失	101		
<b>臨時利益</b>	<b>6</b>		
固定資産売却益	0		
その他臨時利益	6		
<b>当期純利益</b>	<b>1,588</b>		
前中期目標期間繰越積立金取崩額	156	<b>【前中期目標期間繰越積立金取崩額/目的積立金取崩額】</b> ・当該積立金を財源とした費用相当額	
目的積立金取崩額	0		
<b>当期総利益</b>	<b>1,745</b>		

利益の処分状況は31ページ参照

## キャッシュ・フロー計算書

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー		13,508
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 27,399	
人件費支出	△ 46,714	
立替金の増加	△ 9	
その他の業務支出	△ 2,743	
運営費交付金収入	37,210	
学生納付金収入	9,756	
附属病院収入	25,909	
受託研究等収入	5,318	
受託事業等収入	477	
補助金等収入	6,106	
寄附金収入	2,124	
研究関連等収入	1,779	
その他	1,693	

【業務活動】  
教育・研究・診療など通常業務の実施に伴う資金の出入りを表すもの

業務活動による資金調達 **+135億円**

II 投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 7,066
有価証券の取得による支出	△ 123,234	
有価証券の償還による収入	121,230	
定期預金の取得による支出	△ 500	
定期預金の払戻による収入	1,000	
有形固定資産の取得による支出	△ 11,442	
有形固定資産の除却による支出	△ 65	
無形固定資産の取得による支出	△ 148	
有形固定資産の売却による収入	0	
施設費による収入	6,013	
利息及び配当金の受取額	80	

【投資活動】  
固定資産取得や売却、余裕金の運用など投資活動に伴う資金の出入りを表すもの  
▲70億円

投資活動への資金利用 **▲70億円**

III 財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 4,451
国立大学財務・経営センター債務負担金の返済による支出	△ 2,213	
長期借入金の返済による支出	△ 28	
ファイナンスリース債務の返済による支出	△ 1,551	
利息の支払額	△ 658	

【財務活動】  
借入金による資金の調達や返済など財務活動に伴う資金の出入りを表すもの

財務活動への資金利用 **▲44億円**

IV 資金に係る換算差額		-
--------------	--	---

V 資金増加額 (I + II + III + IV)		1,990
-----------------------------	--	-------

平成24年度キャッシュ増加額 **+19億円**

VI 資金期首残高		4,233
-----------	--	-------

VII 資金期末残高 (V + VI)		6,223
---------------------	--	-------

# 国立大学法人等業務実施コスト計算書

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

<b>I 業務費用</b>	<b>39,736</b>
(1) 損益計算書上の費用	86,278
業務費	82,371
一般管理費	3,014
財務費用	648
臨時損失	244
(2) (控除) 自己収入等	△ 46,542
授業料収益・入学科収益・検定料収益	△ 9,695
附属病院収益	△ 25,834
受託研究等収益	△ 5,194
受託事業等収益	△ 565
寄附金収益	△ 1,958
資産見返授業料戻入	△ 630
資産見返寄附金戻入	△ 1,440
財務収益	△ 62
雑益	△ 1,154
臨時利益	△ 6
<b>II 損益外減価償却等相当額</b>	<b>3,717</b>
<b>III 損益外減損損失相当額</b>	<b>5</b>
<b>IV 損益外利息費用相当額</b>	<b>9</b>
<b>V 損益外除売却差額相当額</b>	<b>169</b>
<b>VI 引当外賞与増加見積額</b>	<b>9</b>
<b>VII 引当外退職給付増加見積額</b>	<b>△ 1,159</b>
<b>VIII 機会費用</b>	<b>947</b>
・国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用※1)	37
・政府出資の機会費用※2)	909
<b>IX (控除) 国庫納付額</b>	<b>—</b>
<b>X 国立大学法人等業務実施コスト</b>	<b>43,434</b>

**国からの財源で賄われているコスト**  
損益計算書における費用から授業料収益や病院収益等の自己収入を差し引いたもの

(1) 損益計算書上の費用：862億円

(2) (控除) 自己収入等  
△465億円

**業務費用：397億円**

**損益計算書に計上されていないコスト**  
国から出資された資産等の減価償却や除却損、及び一部の退職手当他、制度上費用に反映されていない負担相当額

**免除もしくは軽減されているコスト**  
国等の資産利用に関して、国立大学法人ゆえに優遇された相当額

※1) 国等の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法  
近隣の地代や賃借料を参考に計算しています。

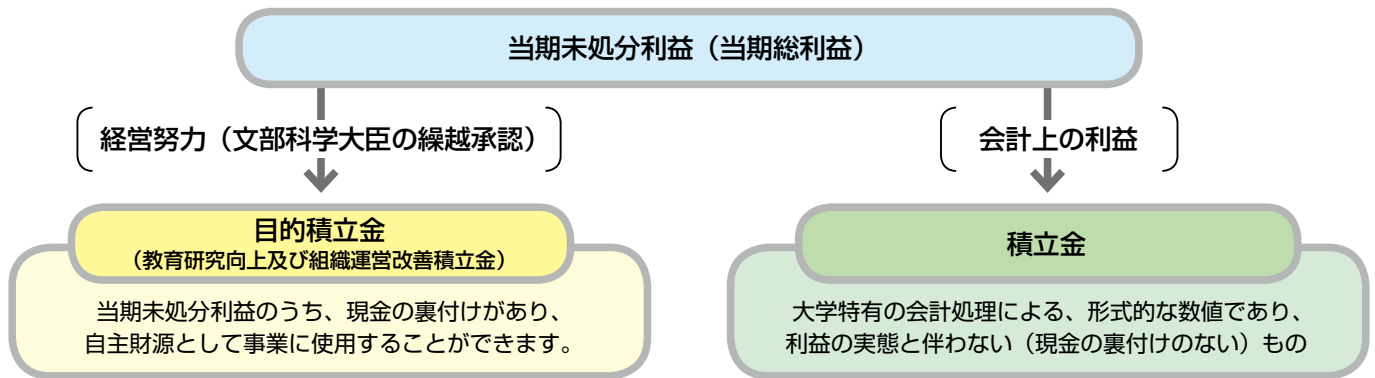
※2) 政府出資等の機会費用の計算に使用した利率  
平成25年3月末における10年国債（新発債）の利回りを参考に0.560%で計算しています。

## 利益処分に関する書類（案）

(単位：百万円)

<b>I 当期末処分利益</b>	<b>1,745</b>
当期総利益	1,745
<b>II 利益処分額</b>	<b>1,745</b>
目的積立金（教育研究向上及び組織運営改善積立金）	0
積立金	1,745

### 【毎事業年度ごとの利益処分に関する処理】



<b>目的積立金</b> -	※目的積立金は発生しておりません。
<b>積立金</b> 17億円	<b>【主な発生要因】</b> ・病院収入で返済している借入金の返済期間は、借入金で取得した大学病院設備建物の耐用年数（減価償却期間）より短くなっています。よって、借入金の返済額が借入金見合資産（大学病院設備建物）の減価償却費よりも大きくなってしまふことから、現金の裏付けのない帳簿上の利益が発生し積立金となります。

### 参考【利益処分に関する処理と貸借対照表上の利益剰余金】

